

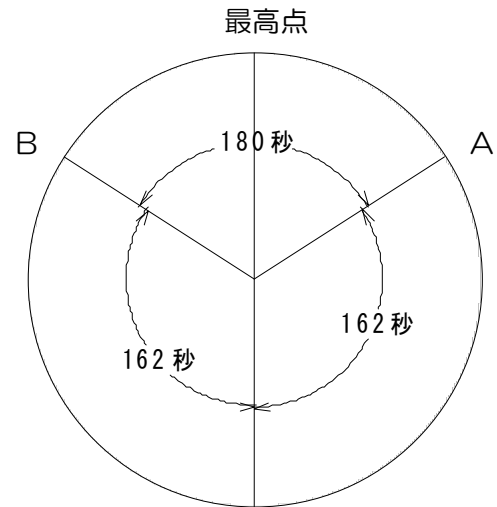
## 算数オンライン塾 6月29日の問題 解説

(解説)

(1) 同じ高さになるとは図のような位置になることです。Bが乗ってから2分42秒=162秒で同じ高さになったということは、Aはそこから162秒で乗車口まで戻ります。AとBの間は3分=180秒ですから、

1周は  $162 \times 2 + 180 = 324 + 180 = 504$  秒 = 8分24秒かかることとなります。

(答え) 8分24秒



(2) AとBが同じ高さになったときから、1分57秒=117秒後にBはCと同じ高さになったので、それはBが出発してから  $117 + 162 = 279$  秒後です。

504秒で1周ですから、 $504 \div 2 = 252$  秒が出発してから最高点に達するまでの時間なので、そこからBは  $279 - 252 = 27$  秒経っていますから、BとCの間は  $27 \times 2 = 54$  秒です。

(答え) 54秒

(3) 54秒の間に5つのゴンドラがあったので、CのゴンドラはBのゴンドラから6つ後ろになります。したがって間隔の数は6つですから、 $54 \text{ 秒} \div 6 = 9$  秒が1つのゴンドラの間隔になります。

したがって  $504 \div 9 = 56$  台

(答え) 56台